

〈令和6年度〉ミライカナエル活動サポート事業 スタート支援コース

団体名	働く授乳コミュニティ Cocochie（ココチエ）
事業名	仕事と授乳を快適に！母親が繋がる場づくり
事業費	103,197 円（うち藤沢市補助金 103,000 円）

事業の目的

キャリアのある母親が、母親同士のサポートを通じて心地のいい授乳ができ、多様な母親の生き方を尊重し合い、我が子と母親自身をいつくしむ環境を作ることが目的とする。

事業の内容と成果・効果

〈事業の内容〉

- 8月～11月 広報物作成・配架
(団体紹介カード・事業案内チラシ・ワークショップチラシ)
- 9月26日 相談会実施
(@湘南藤沢オーパ：計12人参加)
- 12月19日 ワークショップ第1回開催
(テーマ：働きながら母乳育児を続ける利点や卒乳のタイミング @湘南藤沢オーパ：計11人参加)
- 1月12日 ワークショップ第2回開催
(テーマ：先輩ママの話と知っておきたい相談先：オンライン：計9人参加)
- 2月5日 ワークショップ第3回開催
(テーマ：仕事復帰前に何したらいい？みんなで話そう @湘南藤沢オーパ：計15人参加)



〈成果・効果〉母親が交流できる場づくりとして連続3回で行うワークショップを企画して、セルフケア能力を



高める取組を実施したことにより、累計19組（計35人）が参加し、従来参加の1～2組/回を大きく上回った。アンケート結果から、実施内容に対する評価は高く、仕事復帰前の授乳や心配事に関する不安の解消につながったと考える。また、知人や友人による紹介による参加者も徐々に増えており、少しずつ団体認知が進んでいると感じている。Instagramのフォロワーは目標数に届かなかったが、フォロワー以外からのアクセス数が目標を大きく上回り、情報を必要とする母親や関心のある方へ認知が広がったと認識している。

事業を実施しての課題・3年後に叶えたいミライ

〈事業を実施しての課題〉

- ①事業の実施方法や集客⇒実施計画を見直すことや会員の経験を重ねる必要性や仕事復帰する授乳中の母親のニーズを汲み取ることがもっと必要だと感じた。
- ②リピーター不足⇒参加者と会員の信頼関係の構築や「授乳後の母親とどう繋がるか」等のアプローチが不足していたと認識している。

〈3年後に叶えたいミライ〉

仕事をしながら母親になった女性やパートナーが、仕事復帰や母乳育児について悩んだ時、必要とする情報がすぐに手に入り、社会で活躍しながら子育てしやすい藤沢市をつくる
そのために…

- ①コミュニティづくり事業⇒集客やリピーター不足の課題を踏まえ、母乳育児や子育てを支援する他団体と連携して楽しく運営できる要素を模索する。母親の関心の高いテーマを調べて話題に取り上げ、つどい（座談会）や相談会、ワークショップを交えてコミュニティづくり事業を実施する。
- ②広報事業⇒利用者からいただいた「参加者の経験談が聞けて考えの整理ができた」という意見を踏まえ、母親（またはパートナー）の体験談等について取材した記事をウェブ上で掲載する企画を立て、HPやSNSと連動させながら広報事業を実施する。